



滋賀県の中小企業のための広報誌

Uchikochi

Uchide no Koduchi

Vol.
79

令和8年
6月発行

元気企業訪問

積み重ねてきた技術を次の時代へ。
100年の研鑽で支えていく、社会の“縁の下”の力持ち。
廣瀬ハルブ工業株式会社

時流を捉える、漬物屋としての挑戦。
変わらぬおいしさに、新たな変化をプラス。
株式会社やまじょう

製造業からモノづくりサービスへの新展開で未来を拓く。
技術の見える化で勝負する、“一品様”のモノづくり。
株式会社常盤

起業家魂

株式会社Iians

プラザゼミナール

「経済安全保障

会社の技術、狙われていませんか？」

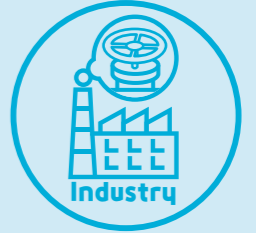
しがのミカタ

長浜ハイオ大学



公益財団法人

滋賀県産業支援プラザ



廣瀬バルブ工業株式会社

PROFILE

- 代表者:代表取締役社長 小野慎一
- 従業員数:109名※2026年5月13日現在
- 本社所在地:滋賀県彦根市芹川町436
- 設立:1943年
- 主な事業内容:油圧機器、高圧用水圧機器の開発、製造・販売
- TEL:0749-23-2020(代)
- URL:https://www.hirose-valves.co.jp/

代表取締役社長

小野 慎一 さん



問い合わせ先
 (公財)滋賀県産業支援プラザ 連携推進部 イノベーション推進課
 TEL:077-511-1414 FAX:077-511-1418

積み重ねてきた技術を次の時代へ。

100年の研鑽で支えてらく、 社会の“縁の下”の力持ち。

1923年に創業の廣瀬バルブ工業。企業としての歩みは100年を越え、多くの実績を重ねてきた。この歴史の中にある、いくつかの転機とこれからへの想いを、代表取締役の小野社長に話を聞いた。

地場産業の系譜を受け継ぎ 油圧用高圧バルブへと進化

本社のある彦根はバルブが地場産業であり、廣瀬バルブ工業の創業者である廣瀬善吉は、彦根バルブ業界の祖と呼ばれる門野留吉氏の甥にあたります。その方のもとで修行を重ね、当社の事業をスタートさせました。大きな転機となったのは、約60年前のことです。それまで手掛けていた水道用などの低圧バルブから、油圧用高圧バルブの製造・販売へと大きく舵を切りました。

同じバルブの製造・販売を行う企業は数多くありますが、油圧用高圧バルブにおいては、現在、当社が滋賀県内で唯一の企業となっています。

私たちの製品は、産業機械や工作機械、船舶、製鉄所の設備など、さまざまな分野で使われています。例えばパワーショベルなどの建設機械も油圧の仕組みで動いています。油圧用高圧バルブは決して目立つ製品ではありませんが、“縁の下”の力持ちとして社会を支えている存在です。

わずかな隙間も許さない 精度と検査が支える信頼性

当社の看板製品のひとつが、油の流れを完全に止めるストップバルブです。液体である油を漏らさず止めるためには、構造設計と加工精度の両方が不可欠です。わずかな隙間でも漏れにつながるため、設計から製造、組立に至るまで高い精度が求められます。こうした技術は一朝一夕で身につくものではありません。特に技能面は、経験の積み重ねによってしか磨かれない部分も少なくなく、約100年にわたる蓄積が強みになっています。

製品は全て、実際に油を流して検査を行います。100個あれば100個全てを検査し、漏れがないことを確かめてから出荷します。時間も手間もかかる工程ですが、油圧機器は不具合が大きな事故につながる可能性があるため、安全で確実な製品を提供することが重要です。誠実に、パーツや製造工程一つひとつに手を抜くことなく、高品質なものを作り続けています。

水圧技術への挑戦が拓く 環境と精度の新たな価値

現在取り組んでいるのが、水を

動力伝達流体とする水圧パワーユニットの開発です。従来の油圧では油を動力伝達流体として使用するため、環境中への油漏れの心配等がありました。一方、水は環境負荷が低いメリットがありますが、漏れやすく、錆びや腐敗といった課題があり、高圧での利用が難しいとされてきました。当社ではストップバルブで培った技術を応用し、気密性を高めることでこうした課題を克服しました。油圧と同等の性能と実用性を持ちながら、環境への影響を抑えた新たな装置として評価をいただいています。

この製品は「関西ものづく」り新撰2025「審査員特別賞」や「第60回機械振興賞」奨励賞を受賞しました。応募にあたっては、滋賀県産業支援プラザから推薦や申請書作成の助言をいただきました。これからの技術を知っていただくための販促展や、さらなる製品開発に向けた補助金申請などについてもご助力いただければと思っています。今後、より高精度、高機能の製品が求められてきます。これまで培ってきた技術と新たなことにも取り組む「開拓者精神」を持って、企業や社会へ貢献していきたいと考えています。



①滋賀県彦根市の本社。
 ②水圧用高圧ストップバルブ。海外の展示会にも積極的に出展し、市場拡大を目指している。
 ③公式キャラクター「ばるくん」。社内外のイベントを盛り上げている。



④ストップバルブで培ったノウハウを用いて開発した水圧パワーユニット。浄水場の水門など大きな力を要する場所でも、油漏れを発生させず環境負荷が少ないのが特徴。

廣瀬バルブ工業株式会社
 詳細はこちら!



元気企業訪問



株式会社やまじょう

PROFILE

- 代表者:代表取締役社長 上西 宗太
- 従業員数:72名※2026年5月21日現在
- 本社所在地:滋賀県湖南市下田3335
- 設立:1948年
- 主な事業内容:近江の伝統野菜を中心とした漬物の製造・販売
- TEL:0748-75-1151
- URL:https://www.yamajou.co.jp

代表取締役社長

上西 宗太 さん



問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ 連携推進部 CO₂ネットゼロ支援課
TEL:077-511-1424 FAX:077-511-1418

時流を捉える、漬物屋としての挑戦。 変わらぬおいしさに、 新たな変化をプラス。

漬物メーカーとして90年の歴史を重ねてきた株式会社やまじょう。近江の伝統野菜などの素材と向き合い、手仕事を大切にしながら、時代に合った事業展開を続けている。四代目である上西社長が語る、企業として挑戦を続ける背景とこれからの展望とは。

自社栽培から直営販売まで 全てはファンを増やすため

やまじょうの歴史は1910年に味噌や麴の加工業から始まりました。その後、京都の老舗漬物屋さんのご縁をきっかけに1936年から漬物づくりをスタートし、現在に至るまで、伝統的な製法や技術を守りながら、事業を展開しています。

スーパーマーケットへの卸売を中心にぶらや壬生菜、すぐきを使った漬物の製造・販売を続けています。中でも大根の漬物

の味を守っています。

心強い伴走者と共に 地域のこれからを照らす

2019年に立ち上げた味噌漬ブランド「武宗」は、これまで製造してきた野菜だけでなく、肉や魚、チーズ、コンニャクといった食材を使った商品を展開しています。私たちがとって、新たな挑戦となるブランド設立の背中を押してくれたのが、滋賀県産業支援プラザによる継続的な支援です。これからの事業や地域の発展を共に考えていただけ

と共に「近江つけもの」として広く普及していくことを目指していきたいです。創業から90年という歴史の中で、伝統を守りながら、そのうえで挑戦を続けてきたからこそ、事業の幅が広がったと感じています。これからも、さまざまな分野へチャレンジし、地域に寄り添う「漬物屋さん」として、滋賀県の魅力を次世代につないでいきます。

技術が進んでも変わらない 手仕事が生み出すおいしさ

漬物づくりを続けるうえで大切にしているのは、自分たちが「おいしい」と思えるものをつくることです。また製造の現場では、どれだけ技術が進んでも「人の手」は欠かせません。私自身も繁忙期の12月には製造現場に立ち、朝から晩まで仕事をすることがあります。その時に感じるのが、素材の見極めや選別、漬かり具合の確認など、熟練された手仕事がある品質とおいしさを生み出しているということ。機械と人、それぞれの役割を活かしながら、これからもこだわり

が生まれていると感じます。

今後はさらに食品ロスの対策として、漬物の長期保存技術の開発にもチャレンジしていきたいと考えています。また、滋賀県産の食材を使った商品をさらに開発し、地域の価値を向上させる



①



②



④



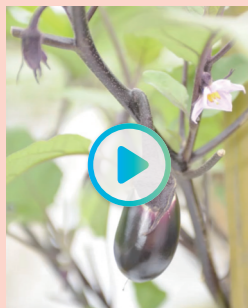
⑤



③

- ① 湖南市にある本社に隣接する、直営店の山上本店。
- ② 商品に使用する自社栽培の下田なすを観察する上西さん。
- ③ 味噌漬けブランド「武宗」のチーズの味噌漬けは、若い人や女性にも人気。
- ④ 「昆布大根」は新鮮な大根を皮付きのまま半分にし、じっくりと漬けている。
- ⑤ 大根のみ、塩漬けの後に味付け液と一緒に漬けて本漬けを行う。より味に深みが出るという。

株式会社
やまじょう
詳細はこちら!



本社に設置された太陽光パネル。



株式会社常盤

PROFILE

- 代表者:代表取締役 湯浅 厚二
- 従業員数:28名※2026年5月29日現在
- 本社所在地:京都市南区上鳥羽山ノ本町298
【草津工場】滋賀県草津市野路東6-7-19
- 設立:1989年
- 主な事業内容:各種樹脂・アルミ材の産業用機械等の
部品切削加工・販売
- TEL:075-671-9888(代)
- URL:https://www.tokiwa1983.co.jp

代表取締役

湯浅厚二さん



問い合わせ先
(公財)滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 経営戦略支援課
TEL:077-511-1413 FAX:077-511-1418

製造業からモノづくりサービスへの新展開で未来を拓く。 技術の見える化で勝負する ”一品一様“のモノづくり。

商社として創業しながら、製造業へと舵を切り、
独自に加工技術を磨いてきた常盤。
”技術力“を強みに、多様なニーズに応えるモノづくりを展開している。
その歩みと、新たな挑戦について、湯浅社長に話を聞いた。

転換からさらに特化し、
築いた170社からの信頼

常盤は1983年に電気絶縁物の商社としてスタートしました。その後1990年代半ばに、外注で対応していた加工を、品質や納期の面でお客様の要望通りにいかないもどかしさから、「自分たちでやってみよう」という決断に至り、徐々に製造業へと軸足を移していきました。現在では、プラスチック、樹脂全般を中心とした切削加工へと特化させ、自社で全数検品まで完結できる体制

人あってこそその技術力
働きたい環境を整える

当社の主力は、プラスチックを削り出して部品を製作する切削加工です。金型を必要とせず、1点からの製作、短納期にも柔

ルサイトを開設予定です。

法人向けの安定した事業基盤に加え、この新たな取り組みを組み合わせることで、自社のブランド価値の向上や認知度の向上にもつながると考えています。この新規事業の推進にあたっては、滋賀県産業支援プラザの成長重視伴走支援事業で、ビジネスモデルの構築や人材確保、マーケティング戦略の整備を進めています。採用面では成果が出ており、支援の重要性を実感しています。これからも我々のノウハウのない分野にご支援いただけたら幸いです。
今後は法人向け事業のさらなる拡大に加え、個人向けサービスの深化。さらには海外市場も視野に入れた展開を見据えています。また6月には新工場が完成し、社員がリラックスでき、顧客との打ち合わせや研修など幅広く活用できる多目的な空間「M/C Base CAFE」の設置も完了します。ここに地域や業界の人が集まり、新しいものが生まれる。そして、地域にも貢献できる企業へと成長していきたいです。”創造を日常の文化に。モノづくりをもっと身近に“をモットーに夢とロマンを追いかけ続けます。

軟に対応できる点が特長です。顕微鏡レベルの微細な加工から大型部品まで対応しています。顧客の多様な要求にも応えながら技術を磨いてきたことで、高度な微細加工技術と美意識を兼ね備えたオペレーターに与えられる「エキスパートマシンングアーティスト」(※精密切削加工メーカー)「碌々スマートテクノロジー株式会社」が提唱認定するものをはじめ、「ベストサプライヤー賞」「品質優良賞」「サプライヤーAランク評価」など、多くの高評価を獲得しています。

理念からビジョン、方針、個人目標へと落とし込み、その目標に向けて、定期的な面談を通じて一人ひとりの成長を支援しています。1年間で10回以上の面談を行うなど、対話を重ねることで、働き続けやすい環境づくりにつなげています。

モノづくりをもっと身近に
新たな価値創出への挑戦

技術力を支える「人」への取り組みにも力を入れてきました。

最近では個人からの仕事の受けにも挑戦し始めました。きっかけはある一本の電話でした。「クラシックカーの部品が壊れたので作っていただけませんか」と

個人の方からご相談をいただいたのです。これまで培ってきた技術を活かし、ご要望にお応えしたところ、大変喜んでいただくことができました。問い合わせをいただいた上で「どこに頼めばいいかわからない」という潜在的なニーズがあるのではと強く感じたのです。個人向けのビジネス挑戦のため、まずは若手社員5名でプロジェクトを立ち上げ、全社的に宣言し、「M/C Base」という個人にも利用いただける自社ブランドの構築を目指して活動を開始しました。そして2026年10月にはポータ

今後は法人向け事業のさらなる



- ①間もなく完成予定の新工場のイメージ図。
- ②秘密基地をイメージして作られた新工場は、入り口からおしゃれな雰囲気。
- ③社員もリラックスでき、地域に開かれた場になることを期待してつくられた「MC Base CAFE」。
- ④常盤で作られる部品は、歯医者さんで治療を受けるときに座るリクライニングの椅子や電車などに搭載されるコンデンサーなどにも使われている。

株式会社常盤
詳細はこちら!



プレスリリース



Instagram



note

新事業創出にチャレンジ! 起業家魂



PROFILE

株式会社Lians(リアンズ)

代表取締役 **安田 峻**さん

- 所在地: 大津市打出浜2-1 コラボしが21 4階415号室
- 創業: 2021年7月20日
- 設立: 2025年12月5日
- 事業内容: 営業戦略設計、営業代行、営業教育を通じた「再現できる営業の仕組み化支援」、新規事業開発支援等
- URL: <https://lians-sales.com/>

問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 創業支援課
TEL: 077-511-1412 FAX: 077-511-1418

「感覚」を言語化し、誰もが動ける営業の仕組みへ。
営業を感覚ではなく、再現できる仕組みに。

商品や技術ではなく、「営業」を商材にする。
一見すると属人的に見える分野に、再現性を持たせることはできるのか。
フリーランスとして独立後、営業代行・支援事業を展開する安田さんは、現場での経験をもとに「営業の言語化」に取り組んできた。その歩みと、営業に対する独自の視点を伺った。

「営業」が商材として成立できると考えたきっかけは

「営業」が商材として成立すると考えた原点には、「営業の再現性」への疑問がありました。頭髪化粧品メーカーやプリンターメーカーなど、異なる業界で営業を経験する中で感じていたのは、同じ商品でも「売れる人」と「売れない人」が大きく分かれる現実です。しかし、その違いは「センス」や「経験」で片づけられることが多く、営業のやり方自体が整理されていない企業も少なくありませんでした。特に転職となったのは、プリンターメーカー時代に自社製品以外の商材を扱うことになった経験です。従来

の営業手法が通用せず、多くの営業担当者がアポイントを取れない状況の中、私はターゲットの整理やトーク内容の見直し、受注までの流れを一つずつ言語化・整理しました。すると、営業成果が徐々に改善し、「営業は感覚ではなく、仕組みとして再現できる」という確信を持つようになりました。その一方で、「営業したいが人材がない」「何から始めれば良いかわからない」という中小企業の声も数多く耳にしました。営業を、属人的なものではなく、誰でも動ける形に整理し、企業の成長を支援したい。その想いから、2021年に個人事業「Lians」を創業しました。「Lian」はフランス

「どのよう」に営業の仕組み化を進めるのですか

現在の支援では、営業を「感覚」ではなく、誰でも動ける仕組みとして整理することから始めています。多くの企業では、「アポイントの担当者でも動ける状態をつくる」ことができます。実際に、受注ゼロだった企業が2カ月で10件、3カ月で30件の成約につながった事例もあります。また、新規事業では、仮説設計から営業戦略を組み立て、最短1週間で初受注につながったケースもありました。

営業は、一部の優秀な人だけが得意なものではなく、正しく整理すれば再現できるものだと考えています。だからこそ、企業ごとに「自走できる営業体制」をつくることを大切にしています。

「産業支援プラザの支援について、また今後の展望は」

独立当初、経営や財務の知識が十分ではありませんでした。そうした中で、滋賀県産業支援プラザのサポートは大きな支えとなりました。

「再現できる技術」として広がっていくことで、滋賀県内の中小企業の成長に貢献していきたいですね。

Liansの主な事業



01 営業代行サービス(現場実行支援)

「まず売上をつくる」ための最短ルートを提供。ターゲット選定から架電・アポ取得・商談まで一括対応。



02 営業コンサルティング(仕組み設計)

営業戦略を「属人化しない仕組み」に変える。顧客セグメント・訴求軸・トーク設計・クロージング設計。



03 新規事業・スタートアップ支援(0→1件走)

「最初の件」を最短で獲得するために。事業構想・営業戦略の壁打ち。



04 営業教育・仕組み化支援(人材育成)

「人が変わっても成果が続く」仕組みを残す。若手・未経験者でも成果を出せる営業スキルを内製化。



Lians Co., Ltd.

Liansのロゴマーク。社名と同じく、ご縁を広げていきたいという想いが込められている。



会社ホームページのトップには安田さんが大切にしている想いである「再現できる営業力を、共につくる。」を載せている。



新事業創出に挑戦する方向けの「創業オフィス」に入居中。主に創業数年でさらに事業を発展させたい方が入居対象となる。



今年2月には、BizBaseコラボ21にて、営業の基礎講座の講師として登壇した。

経済安全保障 会社の技術、狙われていませんか？

自社の技術は、「秘密」として管理されているか。そう問われて、即座に「はい」と答えられる経営者は、どれほどいるでしょうか。その問いこそが、経済安全保障の出発点です。技術やノウハウの流出は、大企業の問題と思われがちですが、実際には中小企業も例外ではありません。滋賀県警察本部の経済安全保障担当者に、リスクの実態と、今日から始められる備えを聞きました。

01 「経済安全保障」は身近な問題

「経済安全保障」の意味するところは、外国からの経済的な圧力や国際情勢の変化によって、国の安全や私たちの暮らし、企業活動が脅かされないようにすること。例えば、特定の国からしか調達できない部品や資源が止まれば、生産はたちまち滞ります。あるいは、企業が長年かけて培ってきた技術や営業秘密が国外に流出すれば、競争力が失われかねません。技術情報の流出は、その企業一社の損失にとどまらず、安全保障上の問題にもつながります。遠い話ではなく、とても身近な問題なのです。

02 なぜ中小企業が「狙われる」のか？

気を付けてほしいのは「うち」は規模が小さいから狙われにくい」という思い込みです。実際には、独自の技術やノウハウを持つ企業・研究機関は、規模や業種にかかわらず標的になり得ます。むしろ大企業が堅固なセキュリティを敷いている分、対策が手薄になりやすい中小企業こそ、狙いやすい存在として見られる可能性があります。「うちは大丈夫」という前提を外すことが、技術と信用を守る最初の一步になります。

03 技術はどのように流出するのか？——3つのルート

国外から技術や研究成果が狙われるリスクのパターンは「サイバー攻撃」「スパイ工作」「経済・学術活動」の3つに分類されます。

Route 01 サイバー攻撃

不審メール、添付ファイル、偽サイト、不正アクセス。こうした手口は今や珍しいものではなくなりました。国内の政府機関、企業、研究機関を継続的に狙ってきたサイバー攻撃グループの存在も指摘されています。とくに、テレワークで使うVPN機器など、ネットワーク機器の脆弱性を突かれるケースは、中小企業にも十分起こり得ます。

主な手口

- マルウェアを仕込んだ添付ファイル付きメールの送付。
- VPN機器など、ネットワーク機器の脆弱性を突いた侵入。

Route 02 スパイ工作

映画の世界のように思われがちですが、今も世界中で使われている常套手段です。対策が難しいのは、プライベートな時間帯や出勤途中に仕掛けられることです。

実際に起きた事例

- 1 大手化学メーカーの従業員が、ビジネス用SNSを通じて外国企業の関係者から接触を受けた。「技術指導をしてほしい」「報酬を出す」と持ちかけられ、自社の先端技術情報を流出。不正競争防止法違反で検挙。
- 2 在日ロシア通商代表部の職員が、工作機械関連会社の従業員に路上で偶然を装って接触。定期的に飲食を重ね、新製品の開発に関する営業秘密を入手。不正競争防止法違反容疑で東京地検に書類送致。

Route 03 経済・学術活動を通じた流出

合併や企業買収、共同研究は正当なビジネスです。しかしこうした活動を隠れ蓑に、技術や研究成果が狙われるリスクがあります。

今日から始める対策——3 Action

Action 1 「守るべき情報」を棚卸しする

企業がいくら「営業秘密を持ち出された」と主張しても、客観的に秘密管理の実態がなければ、法律上の保護は受けられません。自社が「大したことはない」と思っている、諸外国にとっては手に入れたい情報・技術かもしれません。まずは自社が保有する技術情報・研究成果を整理した上で、「何が営業秘密にあたるのか」を従業員に教育・周知することが重要です。

「営業秘密」として法的に保護されるための3条件

- 1 秘密として管理されていること(秘密管理性)
↓ 具体的には…
 マル秘表示をつけている
 保管場所に施錠している
 データのアクセス権を限定している
- 2 事業に有用な情報であること(有用性)
- 3 公然と知られていないこと(非公知性)

Action 2 5つの「漏えい対策」を社内に浸透させる

経済産業省「秘密情報の保護ハンドブック」では、5つの漏えい対策を示しています。それぞれの目的を理解し、社内への浸透を目指してください。

漏えい対策には、大きく5つの対策があります。それぞれの対策と目的を理解し、社内への浸透を目指しましょう。

物理的・技術的な防衛	心理的な抑止
1 秘密情報に「近寄りにくくする」ための対策 〔具体例〕 接近の制御 <ul style="list-style-type: none"> ● アクセス権の限定 ● 秘密情報を保存したPCはインターネットにつながらない 	3 漏えいが「見つかりやすい」環境づくりのための対策 〔具体例〕 視認性の確保 <ul style="list-style-type: none"> ● レイアウトの工夫 ● 防犯カメラの設置
2 秘密情報の「持ち出しを困難にする」ための対策 〔具体例〕 持ち出し困難化 <ul style="list-style-type: none"> ● 私物USBメモリ等の利用・持ち込み禁止 	4 「秘密情報と思わなかった」という事態を招かないための対策 〔具体例〕 秘密情報に対する認識向上 <ul style="list-style-type: none"> ● マル秘表示 ● ルールの策定・周知
5 社員のやる気を高めるための対策 信頼関係の維持・向上等 〔具体例〕 ● ワークライフバランス ● 社内コミュニケーション	


出典：経済産業省「秘密情報の保護ハンドブック」をもとに作成

Action 3 サイバー攻撃対策——今日から始める6つの基本


<input type="checkbox"/> 不審なメールは開かない <input type="checkbox"/> 不審な添付ファイルは開かない <input type="checkbox"/> 出元不明のアプリ・ソフトを会社のPCに入れない <input type="checkbox"/> 私物のPC・USBを会社の端末に接続しない <input type="checkbox"/> 会社のデータを勝手に部外へ持ち出さない <input type="checkbox"/> OSとアプリは常に最新状態にアップデートする	こうした仕組みづくりと同じくらい重要なのが「相談しやすい職場をつくること」です。誰かが不審なアプローチを受けた時、すぐに社内で相談・報告できる風通しの良い環境と情報共有の仕組みを整えることが、被害を防ぐ大きな力になります。
--	---

不審に思うことがあれば、すぐに相談を

教えてくれた方




滋賀県警察本部 警備部外事課 経済安全保障担当
はなだ 花田さん



技術流出事案が実際に起きてからでは、取り戻せないものがあります。不審に思うことがあれば、ためらわずに相談してください。

技術流出防止に関する情勢、事例、対策について紹介しているパンフレットです。ダウンロードできますのでご利用ください。

警察庁発行ハンドブック
「技術流出の防止に向けて」



問い合わせ先 滋賀県警察本部 警備部外事課 経済安全保障担当 TEL:077-522-1231(代表)

しがのミカタ

バイオの力を産業に。 大学と企業が連携し、 地域人材を育成。

生命科学を軸に教育と研究を展開してきた長浜バイオ大学。企業と大学が連携し、社会に必要とされる人材を共に育てていくために新たな取り組みを進めています。その背景と狙いについて、仁連孝昭理事長にお話を聞きました。

地域や企業の課題解決に バイオサイエンスの力を

長浜バイオ大学は2003年に開学し、生命科学を中心とした教育・研究に取り組んできました。開学当時はバイオテクノロジーが大きな期待を集めていた時代であり、産業への応用も見据えた教育拠点としてスタートしました。私たちが注力してきたのは、単に研究を行うだけでなく、その成果を社会へどう還元していくかということです。理系人材の育成、地域との連携、産官学の連携を中心に、地域課題の解決や産業振興につな

る取り組みを進めています。その背景には、バイオサイエンス・バイオテクノロジーの領域が大きく広がっていることも挙げられます。この領域は今や医療や創薬だけでなく、環境、エネルギー、食糧など、社会のさまざまな分野に関わる技術です。こうした変化の中で、大学の役割もまた、より実社会に近い形へと進化していく必要があると考えています。

**企業とともに育てる
課題を見つけ、解決する力**

そうした課題意識から2024年に立ち上げたのが、産学連携

【産学連携人材育成コンソーシアムの概要】

大学と企業が連携し、人材育成プログラムを開発し、学生や企業の社員が共に学べる場をつくります。この取り組みを通じて、社会で活躍できるバイオ分野の人材を育て、より良い未来を築いていきます。

■ 連携分野



■ 連携事項

- 人材育成の充実に関する課題の共有と教育プログラム化
- 学生の育成に関する講師の派遣
- 企業などからのリカレント教育の受け入れ
- 企業および地域の振興推進や課題解決に向けた連携教育事業
- その他、目的達成のために必要な事業

■ 【産学連携人材育成コンソーシアムイメージ】

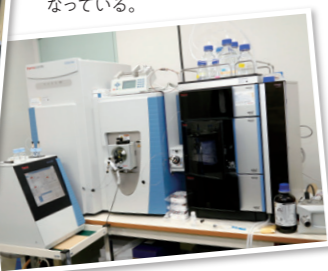


キャンパス▶

実験・実習や医療・創薬・食品・動物・データ分析など幅広い分野に触れながら、学びを社会につなげていくのが大学の長。



▲「産学連携人材育成コンソーシアム」の取り組みとして、企業講演やシンポジウムなどを開催している。



▼高い研究力と充実した設備は、長浜バイオ大学の強みの一つ。理系人材の育成にも大きな力となっている。

人材育成コンソーシアム」です。これは、大学の知識を一方的に提供するのではなく、企業が直面している課題と向き合いながら、人材育成を企業や地域と共同で行っていく取り組みです。従来のように、大学で学んだことを企業で活かすという流れだけでは、これからの時代に十分対応できるとはいえません。企業の現場には、教科書にはない課題が数多くあります。そういった現場に立ちながら学ぶことで、問題を発見し、知識を応用し、解決する力自身についていきます。

素材、さらにはAIやITといった幅広い分野の企業との連携を進めています。企業からの講師派遣や、社会人の受け入れといった取り組みも行い、学生と企業人材がともに学ぶ場をつくらせていきます。知識を得るだけでなく、それをどう使うかを考える力を育てることが、これからの人材育成において重要なことです。

**人材を育むことが
産業の発展には不可欠**

本学ではこれまでも、近隣にある長浜サイエンスパークやインキュベーション施設を活用

し、企業や研究者が集まる環境を整えてきました。これらの施設には、大学発スタートアップとして、微細藻類の活用により地球温暖化や水浄化といった課題の解決を目指す企業が拠点を構えるなどの事例も生まれています。また、企業と大学との共同研究など、産業につながる取り組みも進んでいます。こうした動きをさらに広げていくためには、大学だけでなく、企業や行政との連携をより強めていく必要があります。

バイオサイエンスは、環境問題や資源循環といった社会課題と深く関わっている分野です。生命の仕組みや循環の考え方を産業に活かすことで、持続可能な社会に向けて新たな価値を生み出すことができます。そのため、現場の課題と教育を結びつけ、人材を育てながら産業を育てていく仕組みも重要となっていきます。

今後は滋賀県産業支援プラザに橋渡しいただきながら、企業や産業界との連携をさらに深め、大学の知と企業の課題をつなぎ、地域に新たな価値を生み出していきたいと考えています。



学校法人関西文理総合学園 長浜バイオ大学

理事長 に れん たか あき 仁連 孝昭さん

問い合わせ先
長浜バイオ大学 地域連携・産官学連携推進室

TEL: 0749-64-8100
E-MAIL: chiiki.jimu@nagahama-i-bio.ac.jp
URL: <https://www.nagahama-i-bio.ac.jp/>

「まずは現場を見て伴走してほしい」というご相談は**生産性向上支援センター**へ、さらに踏み込んだ診断や教育は**県中小企業支援センター**へ、という二本柱の体制で皆様をサポートします。滋賀の未来を創る経営者の皆様、ぜひプロの知恵をご活用ください。

滋賀県企業の成長を支える、二本柱の支援体制

02 県中小企業支援センター事業(生産性向上) 専門診断・人材育成

企業ものづくり診断

出前人材育成講座

現場管理者向け講座

Web配信スクール



専門メニューの活用で、より確実な経営改善を!

企業ものづくり診断

経験豊富な生産性向上支援インストラクターが貴社を訪問。独自の診断リストに基づき、ものづくり企業の経営方針から現場の5S、生産管理までを網羅的に診断し、詳細な報告書を提供します。

出前人材育成講座

貴社のニーズに応じたカリキュラムを作成し、専門家を現場に派遣します。5Sや品質管理の基礎から、デジタル化・AI活用などの最新のテーマまで、若手人材の育成を強力に支援します。

現場管理者向け講座 (8日間コース)

生産プロセスの最適化を自主的に推進できるリーダーを育成します。座学だけでなく、受講生企業の現場での実践的な改善実習を含む、非常に満足度の高いプログラムです。

生産性向上 web配信スクール

「現場改善の進め方」や「DX入門」など、生産性向上のエッセンスを凝縮した動画を無料で公開しています。社内研修の導入としてお気軽にご活用ください。

01 生産性向上支援センター 現場伴走支援

無料で何度でも。
相談回数無制限

サポーターを現場へ派遣

無駄の削減・業務効率化

滋賀のビジネスに新時代!「生産性向上支援センター」

令和8年4月1日、県内中小企業の生産性向上を強力に後押しする「**生産性向上支援センター**」を開設し、コラボしが21でオープニングセレモニーを執り行いました。

開設13年目を迎える滋賀県よろず支援拠点、新展開として深刻化する人手不足への対応を最優先課題に掲げています。当センターの最大の特長は、専門知識の豊富なプロのサポーターが無料で何度でも直接現場に足を運び、徹底した伴走支援を行う点にあります。業務の見える化やデジタル活用、省力化投資の検討など、各企業の現場に即した最適な一歩を共に考えます。

当センターの活用は、省力化投資補助金(一般型)の加点対象にもなる予定です。地域と共に歩む相談窓口として、皆様の積極的なご活用を心よりお待ちしております。



<https://seisansei.yorozushiga.jp/>



生産性向上支援センター オープニングセレモニー (令和8年4月1日)

詳しくはこちらへ
お問い合わせください

滋賀県産業支援プラザ 経営戦略支援課
滋賀県大津市打出浜2-1 TEL:077-511-1413



詳しくはこちらへ
お問い合わせください

滋賀県よろず支援拠点 生産性向上支援センター
滋賀県大津市打出浜2-1 TEL:077-511-1422



令和8年度版 人材確保・育成・定着支援

人材の「導入・確保・定着」を強力サポート!

制度導入から確保定着に係る4つの支援事業

貴社の課題に合わせて活用できる4種の支援金・補助金をご紹介します。
最適なステップを見つけて、まずはご相談ください。

STEP
01
【導入】

① 奨学金返還支援制度導入促進支援金

従業員の福利厚生を拡充する手段として「奨学金返還支援制度」を導入して求人活動を行う事業者に対し、定額を支給します。

一律
5万円

STEP
02
【確保】

② 若年層等人材確保・定着補助金(奨学金返還支援)

県内の中小企業の新規人材を確保するため、令和7年4月1日以降に雇用した従業員の奨学金返済を支援する際に、その費用の一部を補助します。

補助率1/2
対象者1人につき
上限7,500円/月
かつ
1社最大5人

STEP
03
【定着】

③ 中核人材定着補助金

県内の中小企業の新規人材の定着を促すため、令和7年3月31日以前より雇用している従業員の奨学金返済を支援する際に、その費用の一部を補助します。

補助率1/2
対象者1人につき
上限7,500円/月
かつ
1社最大10万円/年

④ 若年層等人材確保・定着補助金(スキルアップ支援)

県内の事業所に勤務する一定の要件を満たす雇用期間の定めのない従業員が取得したDX・GX関連資格に対し、資格手当や一時報奨金の支給に要する費用、ならびに研修に参加する従業員の代替職員確保費用等の一部を補助します。

補助率1/2
最大
20万円/年

詳しくはこちらへ
お問い合わせください

滋賀県産業支援プラザ 総務企画部 企画・DX推進課
滋賀県大津市打出浜2-1 TEL:077-511-1411



令和8年(2026年)6月発行 ※掲載内容は変更される場合がありますので、実際の利用にあたっては各課にお問い合わせください。

イベント・セミナーの案内をプラザのホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。



公益財団法人

滋賀県産業支援プラザ



(公財) 滋賀県産業支援プラザは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



健康経営優良法人
2026
EXCELLENCE IN HEALTH

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21(2階)
TEL:077-511-1410(代表) FAX:077-511-1418(共通)
【URL】 <https://www.shigaplaza.or.jp>

■JR琵琶湖線(東海道線)「大津」駅より徒歩約20分、バス約7分、「膳所」駅より徒歩約15分
■京阪電鉄「石場」駅より徒歩約3分(JR膳所駅、JR石山駅乗り換え)